

第22回ゴミパイプライン協議会

会議名	:ゴミパイプライン協議会
開催日時	:2018年12月22日(土) 10:00~12:00
場所	:芦屋市環境処理センター会議室
参加者	
利用者の会より	:山口委員長、友田副委員長(司会進行)、大永委員、木寺委員 太田委員、春木委員、三浦委員
市より	:森田部長、藪田課長、尾川係長、林課員
傍聴者	:7名

○**利用者の会** 皆様、おはようございます。第22回ゴミパイプライン協議会を開催させていただきたいと思っております。本日の司会進行は、利用者の会の友田がやらせていただきますので、よろしくお願いいたします。

本日の資料は、資料1から4までございます。資料のない方は、こちらの右手のほうにございますので、おとりください。本日の議題1からですけれども、ちょっと予定を変更して、議題4、その他に書いてあります報告事項として、藪田課長様から、パイプライン施設の運用期間についてということで、昨日議会が行われましたので、その内容を、御説明をやはりしていただいたほうがいいかと思っておりますので、済みませんけれども、順番逆転しますけど、よろしく御説明のほうお願いします。

○**市** おはようございます。芦屋市の藪田です。

この取り組みですけれども、パイプライン施設のことで、皆さんと話し合いをしてきました。平成28年の9月だったかな、この協議会、第1回目開きまして、まずはみんなパイプラインのことを理解しようということで、一緒にいろいろと調べて、精力的に取り組んできました。

そこで一定のこの考えが整理ついてきて、我々のほうも行政としていろいろな手続が必要ですので、進めてきました。そして、この12月議会ですね、パイプラインの運用年数を条例で定めるということについて、12月6日ですかね、民生文教常任委員会で説明させていただいて審議していただいたということになります。

その結果、ちょうど昨日、21日金曜日の本会議の場で、その報告がされまして、採決が行われたということになります。採決の結果ですけれども、反対もなく可決されたということで、皆様と一緒に取り組んできた結果かなと思っております。本当に今まで

いろいろ協力していただいて、ありがとうございました。

今回は、運用期間を定めることができたんですけども、これで課題が解決したわけでもなく、まだまだ、これからどんどん続くとは思いますので、また皆様の協力をいろいろいただきながら進めていきたいなと思っております。よろしくお願いします。

以上です。

○利用者の会 どうもありがとうございました。過去の皆様の本当努力が実ったなというふうに本当に喜んでおります。ありがとうございました。

では、続きまして本日の議題の1番、パイプライン運転報告について、資料1で林様のほうから御説明をよろしくお願いいたします。

○市 おはようございます。芦屋市の林です。

議題の1といたしまして、パイプライン運転報告につきまして、10月1日から12月15日までの記録を報告させていただきます。表面がシステム異常発報対応、裏面が利用者からの連絡対応、その下が巡回及び点検等で発見された不具合等になります。

まずは表面のシステム発報をごらんください。全体の件数としては7件になります。この件数に関しまして、一番下のところですね、星印で10月1日から12月15日の過去3年間の比較を書いているんですけども、28年度が32件、29年度が13件、ことしが7件ですけども、28年度がこれ件数的にはすごい多いんですけども、どんな異常があるかと調べたんですけども、排出弁の閉異常が多かったと考えております。段ボールが詰まったり、発泡スチロールが詰まったりしたのが件数としては多かったので、これが反映されていると考えております。ことしは件数的には減ってきているなというのが数字であらわれております。

実際、どんな異常があったかの7件を、全ては無理なんですけども、説明させていただきます。

まずナンバー4、5に関しましては、後ほどパイプライン運転の停止についてのところで説明させていただきます。こちらは、この異常がありまして、その後、後に停止が発生しましたので、どんな作業をしたか、費用に関しても後ほど説明させていただきます。

基本的には多かったのが、スクリュウでのごみのかみ込みや、排出弁の閉異常、遮断弁の閉異常になります。前回に比べましてドラムのみ込み異常の件数が少なかったのが印象的です。

続きまして、裏面をごらんください。利用者からの連絡対応といたしまして、この件数としては3件になります。過去3年間を見たら、件数的には少なくなっております。大体、平均して月1回ぐらい、誤投入が起きている計算になります。実際、自宅の鍵を入れてしまった、または自転車の鍵を入れてしまった。3番に関しまして、これも現場のほうから聞いたんですけども、食料品、お弁当ですかね、それを間違えて入れてしまったということで、それで取り出して返却しました。今回3件につきましても、全てすぐに連絡をいただきましたので、全て発見して、投入された方へ返却しております。

今後も基本的にはすぐ連絡をいただければとれる可能性はありますけれども、連絡が遅くなりますと、もう運転が終わってしまっていますので、発見する確率がかなり低くなります。件数といたしましては、過去3年間で言うと、28年度が11件、29年度が9件、30年度が3件と、件数的には減っている傾向にあります。

続きまして、その下ですね、巡回及び定期点検で発見された不具合等につきまして、前のパワーポイントを使いまして説明させていただきます。

最初に見ていただきたいのがナンバー2ですね、10月23日、火曜日、ローカル新浜町ほか、投入口は3111、または11111ほか4件の投入口の輸送管で穴あきですね。これにつきましては、前回のワーキング・グループで報告させていただいた内容なんですけれども、ワーキング・グループでは、前回、今の輸送管の穴あきの状況とかを、今どうなっているんやというのを話し合っておりまして、今わかっているところで残っていた4か所ですね、これにつきましては作業内容として、輸送管の穴あきの水中ボンドでの補修のため、この4か所は、私が入管いたしました。

作業した箇所は、新浜町、あと潮見町、また緑町になります。写真では見にくいんですけど、これが小さい穴ですね。とりあえず止水という形で仮補修までは終わっている状況です。点検口から大体12メートルぐらい行ったところの穴あき箇所になります。

続いてナンバー2に関しましては、これも光が当たっているところに穴があって、その周辺の輸送管が薄くなっています。こちらも水中ボンドで、周辺も含めて補修しております。こちらも大体、投入口から4メートルぐらい行ったところの穴あきになります。

続いてナンバー3ですね、こちらも点検口Ⅱ-F-2の上流約7メートル行ったところの穴あきで、こちらに穴があります。こちらも水中ボンドで穴あきを補修しており

ます。

最後にナンバー4に関しましても、これに光が当たっているところに穴あきがありましたので、水中ボンドで補修をして、大体これも投入口11111の下流7メートル行ったところの穴あきになります。それと、これもワーキング・グループで報告させていただいたんですけれども、今、発見されている穴あきといたしましては、何かしらの処置はさせていただいております。

次がナンバー4、11月7日、水曜日、ローカル浜風町6041、輸送管穴あき、こちらのほうも、水中ボンドで補修しております。こちらは、枠のところをこう拡大しますと、こちらのほうになっており、こちら6041の投入口の下の地下ピットのところ、露出している輸送管内で穴あきがありましたので、その補修を行っております。これ写真ではわかりにくいんですけど、輸送管のフランジの継ぎ目のところですね、こちら、穴あきがありましたので、水中ボンドで補修しております。

また続きまして、こちらナンバー9、11月19日、月曜日、ローカル新浜町、投入口は3011、3112、輸送管の穴あきで水中ボンド仮補修、こちらも同様に、投入口下の地下ピットの輸送管の補修を行っております。こちら1点は、浜風小学校の中の投入口になるんですけれども、上のほうは3011の投入口でこの輸送管というか貯留槽の下部のところ、見にくいんですけど、こちらのほうで穴がありましたので、水中ボンドで全体的に張りつけて補修を行っております。

また下の部分ですね、こちらが3112の輸送管の下部の部分になります。下部のフランジ部分の継ぎ目のところに水中ボンドで補修しております。

パイプラインの運転報告については以上ですけれども、最後に前回の協議会以降、一度パイプラインの運転が停止しましたので、その報告をさせていただきます。

パイプライン運転停止報告についてということで、停止日数といたしましては、11月23日、金曜日の祝日から11月28日、水曜日、約6日間停止しておりました。発覚したのが、先ほどパイプライン運転報告の表面のナンバー4、ナンバー5で、11月23日6時半、あとはナンバー5で、11月23日7時32分、こちらでこの浜風町の2つの投入口、3051、3052で排出弁異常がありまして、運転してもごみは飛んでこなかったという事象がありましたので、その日のうちに現場のほうから私の携帯に電話がありまして、金、土と調査を行いまして、3連休の中で、この丸の囲ってるところにごみが堆積してるなというのがわかりましたので、翌週明けの月、火、水と洗浄車を含めまして作

業し、木曜日には復旧しております。

原因といたしましては不明なんですけれども、カメラ調査を行った結果では、この赤の部分について穴あきは発見されておられません。実際この3031の投入口から、こちらの合流管部分のごみが先頭部分なんですけれども、どんなごみがあったかというのを、入管した業者さんにいろいろ聞いたんですけれど、多かったのは雑誌とか土類ということを知っています。今回ごみがえらい固着しておりましたので、人力では作業はできませんでしたので、高圧洗浄を使用しました。そのため、どんなごみがあったかというのはお見せすることはできないんですけれども、そういったごみの堆積が原因じゃないかというのは考えられます。

費用に関しましては、その下に記載しております。排水作業とカメラ調査等を含めまして約110万円、または臨時の車収集に関しましては約8万円かかっております。

また最後に、今回こちらの運転報告以外で、1点、啓発活動を行いましたので、その報告をさせていただきます。これに関しましては、事前に利用者の会の方にメール等は送らせていただいております。こちらの啓発チラシですね。11月1日、木曜日、こちらに関しましては、今回、維持管理の方が、点検中に発見した不具合で、点検をして貯留槽を見ていたら、この袋に入った土、それと恐らく何かベランダで植木鉢とかに使う石ですかね、それと雑誌、チラシが、この3点がありましたので、こちらは点検中に取り出しまして、左2つ、土と石に関しましては、約2週間、投入口前におきまして、啓発活動をさせていただきました。また、こちら右手の雑誌チラシに関しましては、投入された方がわかりましたので、その方の家に行きまして、お話しをさせていただきました。御理解いただいたかどうかはわからないんですけれども、何で私だけなのか。とか言われていました。ごみはその方にはお返しいたしました。

長くなりましたけど、パイプラインの運転報告に関しましては、以上になります。

○利用者の会 どうもありがとうございました。御質問、はい、どうぞ。

○利用者の会 利用者の会の木寺です。

説明にはなかったんですけれども、巡回定期点検で発見された不具合の中の6項目で、バッテリー切れ、バッテリーの交換とあるじゃないですか。これにちょっと質問なんですけど、バッテリー切れというのは、放電してもう外見から寿命で、これはだめやとわかったんですか。バッテリーはどんなバッテリーだったんですかというのが質問なんで、きょうわからなかったら、後でも教えてください。

○市 芦屋市の林です。

バッテリー切れに関しては、ちょっと型式等が今、手元にないので、またワーキング・グループ等で御説明、御提示させていただきます。こちら陽光町ですので、沖地区に関しましては、全ての投入口にUPSのバッテリーがついておりますので、そのバッテリーが切れた可能性があります。詳しくは、後日現場に確認いたしまして、御報告させていただきます。

○利用者の会 利用者の会の木寺です。

バッテリー切れという言葉は、放電してるという言葉と、潰れてしまったという言葉があるんで、これちょっとはっきりと言っていたほうがいいと思います。

○市 今後、書き方については注意します。

○利用者の会 はい、太田さん。

○利用者の会 おはようございます。御苦労さまです。利用者の会の太田です。

システム異常のところ、6番目ですかね、輸送管内で、ごみが圧縮したため発生ということで、この状況というのは、どういう状況ですか、ごみが圧縮というのは。

○市 ごみの圧縮に関してですが、全ての写真は撮ってないんですけども、1例だけ、御説明させていただいてよろしいですか。例えば、排出弁型のこの点でしたら、この中で通常でありましたら、投入口にごみを入れたら、この黒い枠のところ、これが貯留槽という部分になるんですけども、ここでごみは貯まりまして、上のセンサーのところまでごみが来ましたら、センサーで満杯と表示され、運転をかけましたら、この黒い排出弁が横に動きまして、ごみがこのように流れるんですけども、この例えば、ごみが落ちない状況にありますと、運転をかけて、排出弁が横に動いたとしても、なかなか下にごみが落ちてこないとか、そういったことがあるときに、ごみの圧縮。これちょっとスクリュウ型なので、この図ではないんですけども、またイメージとしては、このような形で、運転してもなかなかこっちにごみが飛んでこないとか、そういった形のときに圧縮される場合があります。

パイプライン運転報告の裏面の巡回及び点検で発見された不具合等のナンバー11ですね。このときの写真を持ってきたんですけども、このような形で、弁が動いても下に落ちなかったことが発生しました。とにかく、いろいろ説明させてもらってるんですけど、現場の写真が少なく伝わりにくい部分があるので、今後は写真を撮るなどして説明をしたいなと思っております。

○利用者の会 詰まりと圧縮、どういうふうに違うんでしょうか。

○市 そうですね、こんなときは詰まりとか、こんなときは圧縮というのは、明確に決めているんですけども、圧縮のイメージとしては、やっぱりスクリュウ型でぐるぐる、ちょっと図面がないので、説明が。スクリュウが回っても、なかなかごみが前に押し込まなくて、途中でとまってしまうというのが、圧縮という言葉は私は使っております。

○市 スクリューで押し込んでいくんで、ごみが動かずにどんどん押し込んでいく場合が圧縮で、こういう形でごみが落ちていかないとかの場合が詰まりという形。

○利用者の会 かみ込みと、どういうふうに違うんですか。

○市 そうですね、かみ込みは、弁が閉まろうとしたときに、そこにごみがあって、完全に閉まらずにかみ込んでしまうとか。

○利用者の会 下の部分で言うと。

○市 排出機弁で、閉まろうとしたけども、ここにごみがあって、最後まで閉まらなかった。ちょっとわかりにくいところがあるかと思いますが。

○利用者の会 御苦労さまです。春木です。よろしく申し上げます。

冒頭に、藪田課長から御報告いただいて、これまで大変御努力されてきた、そのおかげだと感謝申し上げたいと思います。いよいよ来年4月からカウントダウンということになります。

そういうことで、これまで以上に、利用者の会と一体化して進めていきたいなと思いますし、一方では、できるだけ、運命共同体と言うたらおかしいですけど、資料なんかも、ワーキングAのときにはそういう資料なんかの提供といいますか、日常業務で大変だとは思いますが、進めていく上で必要な部分もありますので、できる限り、今後ともよろしくお願ひしたいと思います。

それで、このシステム異常発報とか、いろいろ毎月御報告いただいておりますが、南芦屋浜、潮芦屋やったら、ドラムが多いなという気がして、今回1件ということ。それと排出弁、排出機弁ですね、こういう弁の関係に対して、かみ込みとかいろいろ言われてますし、スクリュウについても詰まりとかと言われてますし、この辺は、もうちょっと詰めて対応していく必要あるかなという気がして、この辺は、協議会で協議するより、またどこかの時点で、ワーキングででも、集中的にやっていただきたいなという気がします。

こういう詰まりとか、かみ込みやとかいうのは、設備の問題なのか、それとも住民がそういうようなものを投入したから発生したのかという何らかの理由があるはずだと思ってます。例えば、いつも場所が同じやとか、いろいろあると思うんですけど、この辺はやっぱりもうちょっと、最近減ってきたということで、非常にいいことやなど思ってますし、この辺は、利用者に起因があって、利用者の会で活動していただいて、遵守できてきたんで、それに起因するシステム異常が減ってきたんかなということも考えられますし、今後ともその辺の取り組みですね、よろしくお願ひしたいと思ってます。

それと、ちょっと長くなって申しわけないんですが、利用者からの連絡対応ですけど、これは誤投入というのは、なかなか直らないといえますか、あるんですけど、ちょっとふっと思ったことなんですけど、これ例えばドラムに作業員の方が入られて、探し回られたり、これ新浜町のほうは、排出弁型なんですかね、それともスクリュウ型。

○市 スクリュウ型です。

○利用者の会 排出弁型も同じですね、中、点検口か何かあけられて、中のごみを引っ張り回して、こう垂直やからね、それ全部引っ張り出して、底のほう見たりとか、大変やと思うんですね。せやから一遍、この辺、一番大変なところ、一番汚そうな作業を作業員の方がやってる写真でも撮っていただいて、それをちよっとうアピールしていただいたらええんかなと。作業員の顔までは出していただかなくていいですけどね、そんだけ、こんなに大変なんやというのをちよっとうアピールしていただけたら、こうやって文章でぱっと書くよりは、生々しくて、アピールできるん違うかなと思っっています。

それと巡回及び定期点検で発見された不具合等などとなっています。ここで輸送管、3点見つけていただいて、これは非常にありがたいですね。ようやっていたいたと思います。とにかく、輸送管の穴あきについては、早期発見が非常に私、大事やと思っっています。ほっとくと、さらに被害が大きくなって、金もかかるしということになりますんで、この関係については、ぜひ定期点検の中で、できる限り発見していただいて、早期発見をお願ひしたいと思っっています。

センターの監視についても同じですね。分離機とかドラムなんかに内部の監視カメラがついていて、監視員の方が見られてると思うんですけど、特に雨が降ったときなんか、どこの投入口から引っ張ったときに雨が入ってきたかというようなことを含めて、

ぜひ今後は日常のそういう点検の中で、発見をお願いしたいなと思っています。

先ほど追加で、何か120万ほどかかったということですけど、これも、いろいろ作業員とか監視員の方もある程度の推定がつかんのかなという気するんですけどね、吸引場所、どこから吸ったときに、どういうものを吸ったときにここ詰まったんやとかね、その辺のある程度その情報といいますか、そういうことも、ぜひ残しておいていただいて、次回のときにまたこの辺吸ったときに、こうなったとかね、いろいろあると思いますんで、ぜひよろしくをお願いします。

以上です。

○利用者の会 太田さん、どうぞ。

○利用者の会 利用者の会の太田です。

システム異常発報対応ということで、3年間で件数が非常に減ってきているということで、その後、巡回及び定期点検のところ、3年間の件数比較が出されていませんけれども、この辺のところはどうしてでしょうか。何か比較しにくい部分があったのかな。

○市 このシステム異常発報とか、利用者からの電話に関しましては、統計がとりやすいというか、異常が出たものを数える、電話がかかってきた件数を数えるんですけども、下の巡回及び定期点検については、どこまで書くかとかもありますので、これがちょっと統計をとるのが難しいというのがありますので、とっていないというのが、現状になります。

○利用者の会 今後とも、非常に難しいと。今後とも、データの的には難しい。

○市 そうですね、ちょっと。

○市 点検に行ってるとか行ってないとかの話もあるのでは。

○市 そうですね。

○市 今年はこの時期に行ってるけど、去年は違う月に行ったりとか。

○市 点検の時期とかも毎年毎年同じではない、雨があって、西日本豪雨があったときは、この点検には行けてない部分もありますので、ちょっと統計をとりにくい部分があるので、今のところはその方法ないというか、比較しても増えたり減ったりというのがありますので。

○市 余り比較できるのはデータではないという形で。

○市 1番のシステム発報とか、利用者からの連絡でない部分を示したいなというのはあ

ります。

○**利用者の会** そうしたら、システム異常発報対応ということで、件数が減ってきているということで、それと先ほどの巡回及び定期点検というところで、これはデータがないということですが、今後その老朽化がどんどん、やはり進んでいくと思うんですよね。この辺のところのシステム異常とか、その辺のところも、順調に減っていったり、平行線であるんかどうかと、今後やはり増える予想があるんかどうかと、定期点検によって、もっともっと老朽化していったら、増えていくんじゃないかというような予想があると思うんですけれども、その辺のところ、市側としてどのように考えておられるか。

○**市** 先ほど、システム異常が減ったと言いましたが、これは言うたら、一時的なものなのか、今後もこれ減っていくかというのは、今回これこの協議会等での毎月の報告をトータルしての判断だと思います。老朽化につきましては、今後の対応ですね、今年数も決まらして、どこまでやるかとかいうのもありますので、それはまたワーキング・グループとか、また委託業者の高砂熱学さんとの相談の上、決めていきたいなと思っております。

○**利用者の会** 今に関連してですけど、今後、定期点検などで、できるだけ発見をふやしてほしいなと私は思っています。うまく、今のね、もう40年ぐらいですかね、使っていて、もう現場の各機器なんかも、これまでどういうふうな取りかえというか、更新をやらされてきたかというのは、細かな部分までわからない現状で思うのは、やっぱりこれから定期点検、どこを定期点検、これまでしてきたんか、それで十分かというふうな部分も含めて、できる限り、こういう設備というのは、不具合を早期発見するのが最重要ですんで、できるだけ定期点検のときに、私はどちらかというところ、不具合を早く発見してほしい。せやから、その点から言うたら、増えるかもわかりませんが、できる限り早期発見に努めてほしいと私は思っています。

○**市** そうですね、できればその維持管理の中で発見されたほうが、コスト面もありますんで、それについて今後、この件数がふえていく可能性もあります。それまた経過を見ていきたいとは思っております。

○**利用者の会** またワーキングで。

○**市** そうですね、細かいところに関しましては、協議会でなくワーキングで話し合っ、て、どうしよう、こうしようとやったほうが良いと思います。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

先ほどナンバー4と5ですかね、110万プラス8万で118万かかったというお話あったんですけど、実は7月のこの協議会で、議事録のまとめというのを今、作業してまして、全部読み返してるんですけども、その中で、パイプラインの停止報告というのがあります、浜風町、5月22日から9日間、作業費を100万、2番目、浜風町、6月5日から13日間、作業費を130万、新浜町がその後、6月14日から5日間で50万、ですから浜風で5、6で230万かかっているんですね。今回また浜風で、11月23日から28日まで、118万ということは、浜風で合わせて350万かかっているわけです。ここは、手を打っていないとあかんと今、本当に思っています。去年1年間で、270万というのは今回出すんですけども、この3回だけでことはもう350万かかっているということなんで、ちょっとこの辺は、利用者の私たちへの責任として、きちっとしたいなということです。

これをどうするかということは、またこの協議会及び利用者の会もそうですし、ワーキング・グループでも話して、ここは詰めない、私の頭のイメージですよ、いつもこの地域だというイメージがあるんですよ。これもう何とか手を打たんとね、ますますこれは増えてきたら、もうせつかくの私たちの税金ですから、しかもこれやる人って、恐らくそんなに複数人じゃないと思うんです。限られた人がいつもやっているような気がしますんで、具体的な対策として、この名前を言いますと、浜風町対策とか新浜町対策ということで、ちょっと絞り込んで、具体的な方策を決めるということが私は必要かなと思いますので、ここでそういう絞り込んだその町内に関する対策というのを決めるべきだと考えています。

○利用者の会 はい、春木さん。

○利用者の会 ちょっと長くなって、最初から長くなって申しわけない。その関係もね、やはり洗浄作業とか、そういうやられる人にあらかじめ、その辺のことを、段ボールが入ってなかったとか、こういうものが入ってなかったか、そういうことをあらかじめ話しておいていただいて、ある程度その辺の推定された原因を、例えばさっき雑誌とか土と言われたんですね。そういうものが入ってたとしたら、今回の原因の推定は雑誌とか土を入れたからですと、それでもいいと思うんですね、とりあえず。だから、こういうことをやって、先ほど雑誌とか土と言われたんですね、せやから、それをアピールされたらええん違うかなと。

だから、何らかの原因として見つけたのであれば、今回これやったときに、雑誌がいつぱい出てきましたと、恐らくこの辺が原因でかみ込んだん違うかとか、詰まったん違うかとか、何かそれなりのことをやっぱりつかんでほしいなと思いますね。でないと、ありましたよ、ああ、そうですかというようなことで終わってしまうんでね、できる限り、やっとする人は非常にね、洗浄やら中のあれ取り出したりと、大変やと思うんですけど、その辺をよろしく願います。

○利用者の会 どうもありがとうございました。

それでは、次の議題の2番、ワーキング・グループAの取り組み、その経過報告、資料2に関しまして、藪田課長のほうから御説明をお願いいたします。

○市 それでは議題の2にまいります。芦屋市の藪田です。

資料の2をごらんください。協議会の開催は、ちょっとペースを落とさせてもらって、二、三箇月に一度という形になってはいますが、その間、ワーキング・グループのほうで詳細な話し合いとか、検討しようということで、資料にも書いてはありますが、基本的には毎月1回、ワーキング・グループを開催して、話し合いを進めていっております。今、どのような内容を話し合っているかということで、大きく3つのことで話し合っております。

1つ目、7月に起きました豪雨被害の検証と対策ということで、こちらをやっていっております。パイプライン停止したときの原因とか、復旧にかかった費用などを調査して、対策を検討しています。今、現時点の対策としまして、前回の協議会でもちょっと説明させてもらったんですけども、こういう大雨によるパイプラインの被害低減対策ということで、大雨が降る前に一度パイプラインをとめて、大雨過ぎた後に、点検口などを開けて大丈夫なのを確認してから、運転を再開しようというようなことで、今この対策を運用していっております。

それと、この7月の豪雨被害のときに起きました若葉町の高層で起きました、信号の不具合、こちらについても引き続き、検討をしています。具体的に言いますと、その資料の①から④、こういうような中身を話し合いしていっております。現状の輸送管補修状況でありますとか、豪雨の事前対策、輸送管の保全の考え方、それと先ほどの信号不良への今後の対策ということで進めていっております。また、一定の方向性というんですか、整理がつかましたら、また協議会で提案等させていただきたいと思えます。

それと、2つ目ですけれども、維持管理費の削減ということで、さらなるコストダウンのために、人件費や需用費、工事請負費、委託料、これらを過去からの推移を表に整理しまして、対策を検討しています。

人件費というのは、パイプラインに従事している市職員の人件費、給与とか共済費等になっています。

需用費につきましては、主に電気代と消耗品という形です。消耗品というのが、修理する部品でありますとか、オイルとかグリスとか、そういうものになっています。

工事請負費につきましては、輸送管穴あき補修工事などの費用でございます。

委託料、これは施設の運転管理とか、設備の点検とか、あとは先ほどもありましたけど、詰まったときの復旧にかかる費用なんかが、この委託料になっております。これらは今、検討していております。

3つ目ですけれども、長期活動計画案の作成ということで、今回、パイプラインの運用期間が定められたわけですが、その間、どのような動きをしていくんだというふうなことを、話し合いしてっております。代替えへ移行するまでの全体像、こちらを明確にするために、長期活動計画案というのを、3つのステップに分けてっております。

第1ステップが、2019年の4月から2029年の3月までの10年間、第2ステップがその次の10年間、第3ステップは、2051年3月までの12年間ということで、整理しておりますので、これはまた整理つきましたら、この協議会で提案させていただきたいと思います。

今は、先日のワーキング・グループでお話ししたのが、設備ごとに保全の方針というのを話し合っ、考えてっております。このような形で、基本的には月1回、この場所で参加は自由なんですよね、はい。参加していただける方は来ていただいて、みんなで話し合っ、知恵出し合っ、やっていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひしたいと思ひます。

以上です。

○利用者の会 ありがとうございます。ただいまの御説明に關しまして、御質問。はい、山口さん、どうぞ。

○利用者の会 御苦勞さまで。特にワーキング・グループはいろいろ細かい話がいっぱいありました。市の方も大変だと、私も思っております。そこでちょっと確認という

か、この豪雨対策の③、④というのがありまして、これは皆さん方もそうなんでしょうけども、輸送管が危ないと、確かにいろんな問題を起こしているということで、どうしようかということで、私たちもすごい一生懸命考えてたんですけど、この豪雨で気がついたのが、実は信号関係も問題が、これからあるんじゃないかということに気がついたんですね。

今までは、そんなに注意はしてなかったと思いますけども、要はこれが第2波として、ぐわあっと私たちの目の前にあらわれて、利用者の会のほうも、これに対する専門家の方がおられまして、細かい一つ一つの問題をどうしたらいいのかという提案が私のほうにもいっぱい来ております。実にこれもまた大変な話がいっぱいありまして、何とかこれをクリアしないと、20年、30年のパイプラインの維持管理というのはできないかなと思ってますんで、まず最初に、まことにあれなんですけども、やろうというやる気がないと、なかなかこれは前に進まないと思います。

それで、非常に体制的にも厳しいパイプラインの現在の人員の問題とか、いろんな問題、スキルの問題もあるでしょうけども、ぜひとも、この場でこれを解決したいという意欲を、ここで1つ見せていただいて、その意欲をもとに我々も、もしいろんな今までの知見がありますんで、それをいろんな形で御提案していただいて、面倒くさいと思います、ですけども、何とか一緒になってこの問題を解決していこうと、かなり個人には負担がかかるかもしれませんが、そこの意欲だけはね、この場で確認して、今後細かい話を、時間をかけて一緒になって詰めていきたいと考えてますけど、いかがでしょうか。

○市 藪田です。

意欲ですか、もうたくさんあります。私も、パイプラインについてそんなに専門なわけでもなく、ごく普通の行政マンなんですけども、こうやって皆さんと話していると、いろんな職業につかれています方、いろんな経験されてる方いましてね、すごい勉強になってるんです、毎回、毎回。ですので、ぜひともこれやっていきたいなど。僕もこういろいろ学べて勉強になりますし、このパイプラインのこともね、いいことにどんどんつながっていていると思いますので、もうぜひとも、こちらからもよろしくお願ひしたいと思います。

○利用者の会 はい、春木さん。

○利用者の会 どうもありがとうございます。ぜひよろしくお願ひしたいなと思いますし、

中にはおじいちゃん応援チームとかでもええでとかいって、言うてもらってる方もおられますんでね、ぜひよろしくお願ひしたいと思います。

それと、私思うんですけど、この協議会の位置づけですね、どうなんかなというて考えたときに、やっぱりこれは日ごろから環境施設課の各方々と利用者の会とがいろんな課題に対して頑張ってるというようなことも含めて、ここで話して、その結果、今度はその議事録なりで、今度市長、副市長、また行政の方、あるいは議会の各議員の方にも知っていただきたいんだという思いが私は非常にあります。それだけ頑張らないかんといいことですね。

その上で、この7月の豪雨被害については、7月から9月まで3カ月間かかったんですね。ほんで費用も、四捨五入したら2,000万ぐらいかかっているわけですね、約、四捨五入したらね。それぐらいかかっているということです。行政のほうとしては、なかなかそういう細かなことも、流せないということもあるんかなということで、その辺も理解した上での話になるんですけど、それで例えば、今回のことし1年のこの反省としたり、この7月の豪雨被害です、3カ月。それに対して対策はどうするんやということをおね、これはやっぱり協議会の中でちょっとこう具体的などころを言っただいて、またまとめていただいて、行政なりにも御報告、もう既に御報告されてるんかもわかりませんが、よろしくお願ひしたいなと思います。

そうしますと、この①の現状の輸送管の補修状況、これについては、これまでで発見された輸送管の穴あき、あいてる状態で豪雨被害に遭うたと。その中で発見、その時点でもあるし、その前から発見されたものもあるし、それらを含めて、一応17カ所ありますと。18の1カ所はもう去年に終わってますからね。17カ所ありましたと。それについては、林さんが自ら中まで入って、応急処置を含めてやって、今は完了しますということですね、これがまず1点。

それと③の輸送管の保全の状況の中でも同じです。先ほども言いましたけど、まだ輸送管の穴あきがあるやろうということで、今後とも日常点検の中で早期発見に努めますと。また、中央制御盤で監視するオペレーターについても、雨が降ったときの分離機とかドラムとかの監視なんか含めて、おおよその水が入ってきたらわかりますわね。それも含めて、今後、早期発見に努めますということですね。

現時点で豪雨被害に対応として話し合った結果について、その2点ですね。それを行った上で、現在、テスト的に試行してますけど、豪雨予想されたときには、あらかじめ

め吸引を停止して、各所点検の上、またスタートをかけると。ほんで、そのときに、点検したときに、どこかで雨水が入りつつたら、やっぱりそれまた調べていかないかんね。一応、今現時点ではそういう方向ですということ、全員この協議会というのは、私、大事なあれやと思うんですね、行政と利用者の会で。したがって、この豪雨被害の3カ月の大きな損失については、現状そういう対応をとってますということをやっぱり明言しておいていただきたいですね。それが今のところの活動報告ということになります。

ただ、若葉町の信号不良については、今、基盤ということですが、この先に中央制御盤をどうするかという大事な問題もありますんで、やっぱりこの辺は、また専門家の方もおられますんで、ぜひ今後詰めていただきたいということで、信号不良については、今後どのような感じだと思ってますんで、よろしくお願ひしたいと思ひます。

また維持管理費の削減についても、これは毎年のPDCAだと思ひてます。民生文教常任委員会でも副市長が言われたかもわかりませんが、保全費用ですね。その辺については、やっぱりあの85億とまとめられた、算出された、あの一番もとに入ってる約10年間の維持管理費、たしか年1億9,000万ぐらいだったと思ひてますけど、それが一番基本になってますね。その10年間というのは、いつからいつまでの平均したんやということです。それが一番ベースになってるわけですね。それをベースにして、歴代、昨年も頑張ってきたんですね、みんなで一帯となって、皆さんも大変だと思ひてますが、その辺、効果はどうやったんやというのもありますね。やっぱりその辺も、~~や~~ ~~ぱ~~ ~~り~~ある程度、オープンにさせていただいてやっていただきたいと思ひてます。

市職員の人件費については、ちょっと指摘もさせてもらいましたけど、この辺はやっぱり難しい部分もあると、それなりに理解はしているつもりです。

今後とも、こちらのほうにも時間かけていっていただかないかん部分もありますんで、この辺は、ある程度、私個人として少しは理解しているつもりです。そういうことで、ぜひよろしくお願ひします。

いよいよ来年4月スタートですので、その間にある程度、今後とも費用はかかってくると思ひますんで、この辺は長期活動計画の中で山口委員長を初め、いろんな人にやっていただけたらなと思ひますんで、今後とも大変だとは重々よくわかっているんで、西宮との広域化とかね、あれも大変だと思ひてますが、いろいろあると思ひますが、

よろしく申し上げます。

○利用者の会 はい、太田さん、どうぞ。

○利用者の会 太田です。

ちょっと初歩的な質問で申しわけないんですけども、委託料と工事請負費ですね、これのところ、委託料というのは高砂熱学に対する経費だと思うんですけども、工事請負費の中に、その輸送管穴あき補修工事とか、こういうものが入ってるよというのがありますけれども、この辺のところは、高砂熱学としては、この委託料の中で、穴あきとかの補修工事に関しては、契約書の中には含まれてないというふうに考えるか、それとも工事請負費というのは、高砂以外に、専門的なとか直せない部分の補修が入った場合、そのほかに業者を呼んで、直させてる費用のことなのか、ちょっとその辺のところを。林さんも輸送管の中に入ってやね、修理をされてるといようなことがあるんでね、その辺のところを高砂との関係というのかな、その辺のところをちょっと知りたいなということなんですけれども。

○市 藪田です。

委託料は、運転管理の委託ということで、高砂熱学さんをお願いしております。工事請負費につきましては、細かいものを入れるとたくさんあります。水中ポンプの取りかえとか、電柱がこう傾いてるんで、その取りかえとか、それぞれに専門の業者さんいるので、何でもかんでも高砂さんというわけではなくて、それぞれ専門の業者さんをお願いしています。

それと一番大きな工事が、輸送管の穴あき補修工事なんですけども、道路を掘って、地下にある鉄の輸送管を取りかえるということになりますんで、それなりの費用かかっているんですけども、こちらは入札をさせていただいてるんです。その結果、高砂熱学さんが一番安い価格で落札されて工事してますけども、去年は違う業者さんが安かったんで、違う会社が施工したりとかという形ですんで、工事請負費の輸送管の補修とかというのは、運転管理委託とは一緒にはしていないんですね。

それと、あとは委託と工事で、ちょっと性質が違いますので、そこも役所としたら予算を分けてるといところもありますので、そういうような形になっております。

○利用者の会 はい、太田さん。

○利用者の会 輸送管の取りかえとか、その辺はわかるんですけども、その点検口とかで、林さんが中のぞいて補修してる写真も見たことありますけれども、その辺のところ、

高砂さんとの契約というのかな、その辺のところどうなのでしょう。林さんみずから中に入らないといけないのか、高砂で本来なら委託費用でもらえる範囲なのかということ。

○市 高砂さんとの維持管理の契約に関しましては、基本的にその穴あき補修というのは入ってないです。ここで先ほど林のほうから説明ありましたように、穴あきを見つけて、水中ボンドで仮補修みたいな、点検口から近いところに関しましてはサービスというんですかね、そういう形で一応やっていただいております。ただ、十何メートル入るとか、そういうような形でやってるところに関しましては、本来であれば、別途その都度出すべきものなのかなと思っております。ただ今回は、いろいろありまして、林のほうで4カ所ほど入りました。基本的に高砂さんの維持管理で入るような形ではないです。

○利用者の会 それ以外に御質問ございますか。はい、山口さん。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

確認なんですけども、輸送管を補修する方法が3つあると私は理解してるんですね。1つは水中ボンド、耐摩耗鋼、交換、この3つなんですけども、その3つの費用というのは、工事請負費に入ってるのか、一部が委託料に入ってるのか。私の理解では、水中ボンドは、ボランティアとは言いませんけど、委託料に入って、高砂さんがしてるのかなど。耐摩耗鋼に関しても、同じように外部の業者じゃなくて、高砂さんがやってるのかなど。交換に関しては、入札制度がありますから、それでやってるという理解をしてるんですけど、それは正しいのでしょうか。

○市 芦屋市の林です。

輸送管の交換と耐摩耗鋼に関しては工事費で入ってるんですけども、その水中ボンド、やるタイミングとかもあるんですけども、洗浄作業等の一環でやるんだったら、委託料に含まれる場合もあるんですけども、水中ボンドだけ発注して工事をする場合もあるので、ちょっとそこは状況って違うかなと思っております。

○利用者の会 春木さん、どうぞ。

○利用者の会 春木です。

先ほど申し上げましたように、この7月の豪雨被害のこの資料ですね、これは約3か月かかって、もう大きな被害ですね。せやから、これに対するまとめは、これ見直してもらえるんですかね。現状の輸送管補修状況は、もうやってますね。17箇所ですね、

もう発見した17か所。ほんで、輸送管保全の考え方といたら、今ここで言うたら、非常に大きなことになりますんで、これまた技術専門の方含めて話し合いが必要やと思ってますが、今これに、豪雨被害に対する対応としては、今言いましたように、17箇所終わったと。ほんで今後、まだ穴あいてるから、日常点検やりますと。日常点検、先ほどもね、3か所ほど見つけてもらってますわね。せやから、あの辺も徹底的にやるということに加えて、中央制御盤の監視、オペレーターについても、当然、雨が降って水が入って、こっち引っ張ってきたら、先ほども言いましたけども、分離機やらドラムのところまで水入ってきますわね。せやから、それらも含めて、早期発見に努めますということですね。

それともう一つは、豪雨が予想されたときには、あらかじめ吸引を停止して、ほんで点検してから、スタートすると。これが今回の7月の3箇月の豪雨被害に対する現時点での対応なんですね。せやから、この辺をはっきりとこれ、まとめておいていただきたいですね。

その上で、今後ともやっていこうということになりますんで、これは今後、今度は来年度の梅雨どき、あるいは台風シーズン、それらの大雨のときにどうなるかということですね。そういうことで、やっぱり今後とも、この輸送管については、水漏れというか、浸水というのは、私は続くと思っています。だから、これが今回の対応なんで、これについてはやっぱりきっちりと、今現時点のきっちりといたって、簡潔でいいんですけどね、この現状の輸送管の補修状況といたら、発見された全ての17カ所については完了ですと。先ほどの応急処置含めてね、これ来年以降、見ていかなあかんけど、完了ですと。それと輸送管、日常点検でこれについては、今言いましたように、それをやって早期発見に努めます。それとあと、豪雨が予想されるときには、あらかじめ停止する。これが今の主たる対応になるんですけど、3箇カ月のね。

せやから、この辺をはっきりとまとめておいて、打ち出していきたいと思うんですね。でないと、ここに書いてるこれだけじゃ、わからないと思うんですよ、この資料だけじゃあね。維持管理費も同じでさ、電気代、恐らく10年の一時と比べたら、電気代が違う、ほかの部分も含めて、恐らく2,000万近くは年間、みんなで頑張ってる成果出てると思うんです、恐らくね。その10年間の評価したら。それらを含めてね、やっぱりその辺は、はっきりとしておいてほしいんです。でないと、ちょっとう、私もいらいらしますから、お願いしますわ。

○市 藪田です。

この議題の2は、私、冒頭にも申し上げましたけど、これ経過報告を今回させてもらってるんです。その中で、今3つのこのことを取り組んでやってる最中ですよ。例えば1、整理ついたらまたこの協議会に提案させてもらいますということで説明させてもらったと思うんですけども、いずれにせよ、このどれにしても、ちゃんと整理ついたら、この協議会のほうでしっかりと報告させてもらっていかうと思ってます。ただ、今どれもまだ話し合っている最中なので、今は経過報告になってますんで、違うんですか。

○利用者の会 これ、今回のターゲットは何かといたら、7月の豪雨被害なんですね。

○市 はい、そうです。それを、今。

○利用者の会 3か月かかっているわけですよ。

○市 我々としたら、これまだ整理ついてないと思ってるんで、話し合っている最中。

○利用者の会 いやいや、話し合っている最中ではないですよ。1つ対応をしてる、行ってるわけですよ。これが3カ月もかかってね、約3カ月もかかって、もうすごく多額の損失出たわけですよ。せっかくみんなで頑張って、コストダウンといって2,000万目標にしてやってきて、それがほとんど飛んでしまうことになるわけですね。やっぱりこの辺はね、やっぱり非常に我慢できるところなんですよ。

だから、この3か月もかかったことに対する、今現時点での対応ということは、発見した輸送管が穴あき、去年から発見してる部分も含めて、この輸送管の現状で、どうですかと、もう17か所終わりましたと、応急処置含めてね。ほんで、まだあいてるやろうという部分については、今後、日常点検、あるいは監視盤、中央制御盤の監視で、ある程度ないか、この部分も点検し続けていきますと。ほんで豪雨予想されたときは、あらかじめという、これが7月豪雨に対する現時点での対策なんですよ。

せやから、やっぱりそれはね、やっぱり民間でも同じですよ。これだけ、3か月も工場停止したら、何しとんねんと、どういう対策してんねやということになるわけですよ。そうしたら、やっぱり7月豪雨被害に対して、このように今は対応してます、今後とも、検討を進めていきますということになりますんでね、やっぱりこの辺は、7月豪雨被害についての対応というのはきっちり、今現時点での対応を書きおいていただきたいなと思いますね。

何か不具合があるんですかね、これ協議会に出て、行政とかその辺流れるということ

に対して。この辺がね、やっぱり非常にちょっと何か中途半端な気分やなということになってますんでね、これやっぱり明確にしておいていただきたいと思います。

○市 済みません、尾川です。よろしくお願いします。

今のこのワーキング・グループAで今やってることの経過報告という形で今、発表させてもらってます。もちろん、この7月に3か月も停止したというのは、御迷惑をおかけしてるんですけども、今の現状、説明させてもらったように、輸送管の穴あき部分に関しましては、発見されてるところ、一応全て、水中ボンドの仮補修という形も含めまして、全部補修が終わっております。これから、先ほどありましたようにも、日常点検で発見したら、水中ボンドでできるところは水中ボンドで仮補修すると。運転管理の方が、分離機等々のITVを見ながら、水入ってくるところあれば、ここの上流側違うかという形でまた調べたりという形は、これから続けていこうとは思っております。

あと、皆さんと考えてやった豪雨の事前対策ですね。これに関しましても、台風が来るぞ、大雨が来るぞというときに関しましては、利用者の方には御迷惑をおかけするんですけども、パイプラインを停止させてもらって、次の日の朝、しっかり点検口等で、雨が入ってきてないのかを確認してから引いていくと。ただ、その日の朝というのは、投入ができないような形になってしまいますけども、そういう形で御迷惑をおかけするけども、被害を最小限にとどめようという形で考えております。

ただ例えば、信号不良と今後の対策とかについては、ちょうどワーキング・グループAでいろいろ話し合ってるような段階でありまして、全てが全部、網羅できてるような状況ではないんですけども、今の経過としましては、そういうような形で、輸送管は発見してるところは全て完了で、豪雨の前は事前にとめると、この2点を中心に、あとは日常点検でどんどん探していこうという形で、この3本柱というんですかね、こういう形でちょっとやっついこうと思っておりますんで、それを今後、経過ではなくて、まとまりましたら、また報告させてもらうような形になると思います。

○利用者の会 そういうことをこの7月豪雨被害について書いてほしい、まとめてほしいなと思います。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

この協議会というのは、いろんな人が注目してるんですね。と同時に、いろんな人にアピールしなければいけないという部分があるわけです。というのは、やはり3か~~か~~

月やると、住民の方も、また雨が降ったらというのはありますし、一体、何を議論しとるんやというのはやっぱりあると思うんですよね。ですから、今回は、とりあえず、例えば、12月末時点で、こういうことを話し合いして、こういう結論は出てます。ただ今後、考えなければならないのは、こういう点がありますというのは、一度、紙に1枚にまとめてね、これをオープンにしたら、皆さんもある程度理解されるし、議員の方もそれで納得される部分あると思うんです。だから、そういう観点で一度きちっとまとめて、今後は今後でこういうことを今後、我々は考えなければいけませんも含めて、まとめるという形でどうでしょうか。内容は、今、尾川さんがおっしゃったことで僕はいいかと思うんですけどね。

○利用者の会 ぜひ、お願いします。

○利用者の会 はい、藪田課長。

○市 そうしましたら、途中経過の部分もあるかもしれませんが、一旦この時点で整理しましょうか。内容的には公表しても問題ないと思いますし。

○利用者の会 それを気使うんですよ、言うたびに。

○市 ありがとうございます。済みません。

○利用者の会 セヤからね、やっぱり。

○市 ちょっと、この時点で一度整理して、途中のやつもありながら、終わってるやつもあるので、一度整理させてもらいたいと思います。

○利用者の会 発信しないかと思うんです、住民の方にも行政の方にも。

○市 見える化ですね。

○利用者の会 見える化。

○利用者の会 ありがとうございます。太田さん、どうぞ。

○利用者の会 太田です。

再度確認なんですけどね、工事請負費と委託料というところですけども、高砂熱学とは、穴あき補修工事、その水中ボンド程度で補修できる部分に関しては、契約外であるということを言われましたかね。ということは、これ、水中ボンド等を林さんがしなければ、日常点検、運転管理や設備点検という部分で、高砂熱学さんがもし動いたとしたら、契約外であるんで、委託費の工事請負費のほうで計上されてるんでしょうかね、費用は。

○市 芦屋市の林です。

高砂さんが、その輸送管の補修というのがどこまでかというのはあると思うんですけども、今回、私がやったというのは、輸送管の中に入管をしまして、大体10メートルぐらい入って、ボンドを張るという作業、これに関しては、契約外になるんですけども、先ほど何点かあった投入口下ですかね、地下ピット、その輸送管が露出しているところ、こんなを水中ボンドをぱっと張るぐらいの軽微の補修に関しては彼らもやることですし、そこに関しては委託費に入るようなことになります。その入管をして中で作業すると、やっぱり彼らがやるようなことではないなというのがあります。

○利用者の会 ということは、今後も林さんが、入って補修する可能性があるということ。

○市 私が入ったというのは、いろいろ現場を見るというのもありますし、全てが全て、私が入るようなことではないと思うんですけども、西日本豪雨があったときは、私が、次どここの点検口あけろとか、指示はさせてもらうんですけども、ほんまに最終手段としては入らなあかなという気持ちはあるんですけども、そこはちょっと一番に私ではなく、業者さんに作業をお願いして、より円滑に現場で作業進めたいと思います。もう1つの手段ですね。それで毎回、僕が入るということはないんですけども、そういった形で今回ちょっとピックアップされてしまったんですけども、入ったという経緯があります。

○利用者の会 酸素濃度もはかって、それに中まで入って、ロープで縛られて、ほんまに大変なことだと思います。今後、やっぱり来年4月1日からカウントダウンになりますし、やっぱり一番大事なところが設備保全というところになってまして、これからいろんな各現場の排出機弁型にしても、スクリュウ弁型にしても、ドラムはちょっとあれかもわかりませんが、弁やかいろいろんな機器もあるし、電気にしても、それぞれのローカルというか、地下にあるんですね、制御盤が。制御盤ありますしね、細かいところ言ったら、水中ポンプもありますしね、やっぱりこの辺は、今後まだ20年、芦屋浜20年使っていくということが大きな目標になる中で、やっぱりこの辺は、それぞれ今後詰めていく必要があると思います。

そうしたら、一番最初にも申し上げましたように、高砂熱学との契約がどないなっているのやというようなことも含めてね、今後ワーキングとかその辺でやっていかないかんと思いますし、そうしたら、電気計装やら含めて、みんなその資料があるんかなというのが非常に気になる、心配するところですしね、せやからその辺は、具体的には今後とも、もう言いましたけど、運命共同体のところがあるんで、今後ワーキング

でもよろしくお願ひしたいなと思ひますんで、難しいことかもわかりませんが、できる限りお願ひします。

○利用者の会 ほかに御質問ございせんか。

なければ、次の議題、議題の3番、利用者起因による輸送管障害の防止対策、山口委員長から御説明をお願ひします。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

先ほども言ひましたように、私たちが原因として、パイプラインを詰まらせて、貴重な財源を使つて、または地域の方から投入口がふさがれて、ごみが捨てられない、あげくの果てには、パイプラインをそこで傷めてると。ですから、そういうことをなくしたいということで、マニュアルを1つ、つくりました。そのマニュアルが皆さん方のもとにある、こういうマニュアルで、木曜日に、利用者の会の方には最終的に説明をして、これで行こうという賛同を得られたものです。

今回は、去年はパイプラインに捨てられるごみ、捨てられないごみということをはなれて、7,500ぐらいお配りしたんですけども、今回はこれをお配りしたいということで、実は月曜日に浜風小学校に行かせていただいて、実際の浜風小学校のパイプラインの投入口を見せていただいたんです。それに前回お渡ししたのもですね。ちゃんと投入口に張ってありましたんで、私はうれしかったんですけど、その第2段ですね。ちょっとタイトルが長いんですけど、「いつでもごみが捨てられる安心のパイプラインの使い方」ということで、こういうタイトルにしました。最初は、パイプラインに優しいマニュアルとか何かつけてたんですけど、家族に相談したら、お父さん、こんなタイトルでは誰も読まないよということをは指摘されまして、ちょっと読みやすいように変えました。発行は、来年度2019年になって発行したいなと思ひます。

1ページをめくりますと、最初にこれは追加というか、変更したんですけど、なぜこんなマニュアルをつくったのかということのその理由と、今までの経過をここに述べています。最後のほうには、いかにパイプラインの中に入って作業するのが大変であるかということをは訴えたいということで入れました。

それから次の3ページ目は、現状で幾らお金がかかっているのかということをは、恐らくどなたも知らないと思ひます、利用者の方。ですから、やはりきちんとしたデータを載せたいということで、2017年度のデータを載せました。

次のページは、今度はマナーというのが大切であると、利用者の会から指摘を受けま

して、パイプラインに対するマナーというものを、1つここで確認したほうが良いということをおっしゃいましたんで、それをつけました。これ、出し方のポイントは、この市の家庭用ごみのハンドブックから持ってきたものだと思います。ここにいろいろ書いてます。この写真は、実際にあるところで放置ごみがあったんで、こういうふうにありますよということも、写真をつけてここに載せました。それから、投入口の扱いも、私もそういう趣味はないんですけど、捨てる人が捨てるのをずっと見てるんです、どんなふうに入入口を、鍵を入れて閉めてるのか。結構な方が、どたっと閉めてるんですよ。本当にゆっくりじゃなくて、「ぼお〜んと」ですね。ですから、これは壊れるなど、いろいろ思いついて、こういうふうには私の手なんですけどね、私の手が入って、こう写真を撮って、大切に使いましょうということで載せました。

次は、突起物ですね。突起物で鍵を摩耗すると、いろんなトラブルが今、起きてます。これは交換しましょうと、注意しましょうということで、ここに載せました。実際に投入口の前に立って、私ずっと鍵を見せてもらってるんですね。済みません、ちょっとおたくの鍵見せてもらえますかと言ったら、やっぱり摩耗してます。ひどい人はね、5つぐらい鍵持ってましたわ、昔から。どさっと持って、どれがいいかとやってる人がいましたんですけど、やっぱりそういうことで、ちょっと突起物に関しては、注意が必要ということで、1番として入れました。

その次は、例のお金がかかるもので、何でもこういうものを入れたら、どういう原理でおかしくなるのかということ、2番に草木を入れた場合こうなりますよ、3番は衣服を入れたらこうなりますと。衣服は実際、今回の林さんのレポートでも、スクリュウに絡まって、トラブルしましたよね。ということで、衣服の問題、それから、本とか書類とか、そういう問題。それから段ボール、発泡スチロールの問題、次が板とか木とか、そういう問題。7番は、実際にこの投入口に捨てられたものを、ここに写真がありましたんで、これを載せました。この一部は、利用者の会の入り口に置きまして、皆さん方に見てもらいました。こういうものは、捨てるのはやめましょうということです。

それから、2ページ追加をしたんですけども、ごみの資源化というのが、1990年代に、法律で日本も循環型社会をつくらうということで動いているんですけど、実際どうなんかなということ、もう一遍、非常にこれから今後大切なことなんで、資源化に取り組みましょうということで、啓蒙となる文章のものを入れました、法の話とか、3R

とか、世界の状況とか、大阪府の状況というのをここにに入れて、じゃあ、芦屋市はどうなのかということで、芦屋市を日本のリサイクル率と比べてどうなんだろうということ、ここに載せております。

最終的に、じゃあこういう現状なんで、どうしたらこれがうまくいくのかと、その1つとして、最終的には再生資源集団回収という制度が、芦屋市にはあって、私たちにも協力してやっています。ただし、これが最近、ちょっと落ち目にあるんです。これは兵庫県全体もそうなんです。日本全体も、なかなか伸びてないんで、もう一遍この集団回収というのを利用すると。私たちもお金が入ってきて助かるし、資源も多いに資源化できる。市のほうも財政的に助かると。三方得という制度なんで、これを推進して、皆さん方も協力していきましょうということで、これをつくりました。

最後に、今この私たちのポスター張ってますので、このポスターをここに、同じものを載せて、赤ちゃんが泣いて、捨てちゃだめよということで、こういうものをつくりました。これを、来年早々にでも印刷に回して、皆さん方にお配りして、啓蒙活動をするということを考えてます。

配るだけではだめなんで、2つの歯どめをします。1つは、やはりそれぞれの集会所がありますんで、2月以降、この集会所でこれを説明すると同時に、パイプラインがこういうふうに条例化されましたよとか、いろんな情報もありますんで、その説明会を開いて、そこで説明をするというのが1つ。もう一つは、この中に、添付のアンケートをつくりました。こういうアンケートですね、両面でこの中に入れようと思います。これを書くことによって、それぞれの意識が高まるということで、それが1つと、私、投入口にポスターを張ったときに、やはり、ごみを捨てる方と、かなり話し込んだんです。じっと待ってまして、自転車でもありましたんで、貼って、どんな人が捨てに来るのかなとかいろいろ。で、文句も言いましたし、逃げて帰った方もおられます。あるところで、めちゃくちゃ大きな黒い袋を2つ持って、ぎゅうぎゅう押し込んで、おばあちゃん、済みません、それはちょっとと言ったら、逃げ出されて、家に帰られた方もおられたんですけども、そういう意味で、やはり現場の方の意見というのがあると思います。

私たち、こうやって一生懸命、協議してますけども、現場の方と遊離してる部分もかなりあるなという感じを受けました。ですから、やはり現場の方の声を聞くと。本当は、車座になって話すのが一番いいと思うんですけども、なかなかそういうのも難し

いで、こういう形で1つ、打てる手は打っていきこうということで、アンケートを中に入れて、皆さん方の声も直接聞きたいなということで、今回つくりました。

ですから、7,000以上の配布になると思いますので、このアンケート用紙も7,000配ろうということです。ただし、回収目標を1,000ぐらいに置いてるんですけども、どうやって集計するか、大変だなというのはありますけど、何とか頑張っってやっっていくこうと思っております。

以上でございます。何かございましたら。

1つだけ、2ページのこのパイプラインに入ってる方の写真が、後ろ姿があるんですけど、これはもう少し以前よりも、ちょっとしんどい形で入られてる写真が入手しましたんで、そっちのほうに変えようとは思っております。

○利用者の会 山口さん、済みません、これはもう印刷終わってるんですかね。

○利用者の会 まだです。

○利用者の会 要は今ちらっと見とって、ふっと気づいたんやけど、アンケートのお願いの1)の⑤居住年数、例えば、居住年数、1年5カ月と言われたら、どこに入るんですかね。今ふっと気づいて。

○利用者の会 1年から5年間に修正します。

ほかに何か気がついた方で。なかなか、このアンケートつくってて、焦点をどこに絞るか、本当は絞ったほうがいいんですけど、なかなかあれも聞きたい、これも聞きたいで、ちょっと量がふえて申しわけないなという気はしています。

○利用者の会 項目はたくさんあっていいんですけど、2ページ、ちょっと詰まり過ぎて、やる気がなくなるような気がして。紙代そのものは余り変わらへんので、A3の表裏に広げて、もうちょっとこう書いてもいけるかなというふうな形にしたほうがええん違うかなという印象。紙代はしれてますんでね。

○利用者の会 私もつくってて、この文字と文字の間をかなりこれ変更してるんです。1行だけじゃなくて、もうちょっとミリ単位でかなりしましたんで、ちょっとそれ考えさせてください。私もそれに半分は賛同します。非常に量が多かったということで、書く人に御迷惑をかける部分が確かにあるなとは思っています。

○利用者の会 ありがとうございます。

質問のある方、ございませんか。

ないようでしたら、本日の議題の4、その他ということで、報告事項で、藪田課長様

から。

○市 報告事項①は最初に説明終わりましたので、②の説明を。

○利用者の会 ②をお願いいたします。

○市 芦屋市の林です。

その他の項目といたしまして、年末年始のパイプラインの運転について、報告をさせていただきます。ことしに関しましては、例年と違いまして、日曜日の運転を行っておりませんので、それについて。簡単な図なんですけども、御説明させていただきます。通常でありましたら、去年まででしたら31日の午前中まで運転してたんですけども、ことしに関しましては、12月30日が日曜日になります。ですので、30日に関しましては、運転員が出勤しておりませんので、吸引運転等はいりません。ですので、できるだけ皆さん、29日の土曜日までに投入していただければ、ごみが捨てやすいかなというのはありますので、御協力のほうをお願いいたします。

また、よくこの時期になって聞くんですけど、やっぱり赤ランプのときに投入口横にごみを放置する方が増えておりますので、できるだけ減らしたいと思っておりますので、赤ランプのとき、置いて帰ることのないように、皆さん御協力をお願いいたします。

また、その下ですね、書かせてもらってるんですけども、持ち込みごみを31日午前中まで行っておりますので、投入量が多かったら、こちらのほうに持ち込むような形でもお願いいたします。ちょっと申しわけございません、こちらのほう、前日までの事前予約と書いてるんですけど、前営業日までの持ち込み予約、事前の予約になりますので、予約センターのほうは29、30日はやっておりますので、28日までです。申しわけございません、資料は修正させていただきます。

またパイプラインの運転は、31日午前中まで運転しておりますので、正午になりますと、投入口ロックかけますので、できる限り早目に投入のほうをお願いいたします。

来年に関しましては、1月4日、約9時ごろから運転を開始したいなと思っております。3日ほど放置しておりますので、運転員が状況を見ながら運転をしていきますので、御協力のほうをお願いいたします。

以上となります。年末年始のパイプライン運転についての報告を終わります。

○利用者の会 どうもありがとうございました。はい、山口さん。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

これは確認ですけれども、何か投入口に張るとか、何かされるんですかね。予定がな

かったら、何か僕らでもつくって、自分のところに張ろうかなと思うんですけど。

○市 芦屋市の林です。

これとおなじものではないんですけども、毎年、全投入口に、31日は午前中までだよという張り紙はさせていただいてますので、予定では来週ぐらいから張りたいなという調整をしております。

○利用者の会 ありがとうございます。

御質問ございませんでしょうか。

それでは本日、最後の議題ですね、今後の協議会のスケジュール、来年度ですけれども、少々お待ちください、来年の2月16日、土曜日、御都合は、部長以下、課長様、皆さんよろしいでしょうか。我々のほうも、2月16日、土曜日、御都合はよろしいですか。

○利用者の会 はい。

○利用者の会 そういうことで、今回は2月16日に、場所はこちらのほうで、時間は10時、いつもと変わらず、開催させていただきたいと思います。

それでは、本日の協議会はこれにて終了させていただきたいと思います。

皆さん、どうも御協力ありがとうございました。

以上